

議会報告 小児医療費助成高3まで拡大を 相模原市議会議員 桜井はるな

相模原市議会9月定例会議で一般質問を行いました。その主な内容について報告します。

小児医療費助成制度

子どもの貧困が問題となる中で、特に医療は最も優先課題であり、経済的視点から見ても小児医療費助成は最も重要な施策であると考えます。その中で10月から通院の助成対象年齢が中学3年生まで拡大されることは、大

きな進展だと評価していきます。しかしながら、子育て家庭の経済的不安を考えると、まだ十分とはいえません。そこで少子化に歯止めをかけ、人を呼び込むとともに子育て家庭の負担軽減を図るため、「助成対象を高校3年生まで拡大するべきでは」と質問しました。

市長からは「小児医療費助成制度については、重点的に取り組む子育て支援策として、対象年齢の

拡大を進めてきた。今後については実施状況の分析などを行っていきたい」との回答がありました。

市では平成25年の風しん流行に伴い、26年度から国の補助等を活用し「風

しん予防接種促進事業」を実施しています。しかし30年度までとされていることから、来年度以降の事業継続、安心して妊娠・出産ができる環境づくりに向け、妊娠を希望する女性だけでなく配偶者も対象とするよう要望。市からは「検討する」との回答がありました。

小中学校での安全対策

子どもたちの安全に対する学校改修はもちろん必要ですが、学校は災害時には避難所としても活用されます。そこで停電対策として、太陽光発電と蓄電機能を備えたモデル校の設置について質問

風しんの予防接種

しました。市からは「費用対効果や他市の状況を調査するなど、検討してまいります」との回答がありました。



桜井はるな

- 市民文教委員会 委員長
- 交通問題特別委員会 委員
- 市政活動テーマ/南区から市政をチェンジ!・医療・福祉・子どもを守る! 「歌による介護予防セミナー」開催